

介護保険事業計画の実績と目標について ～第8期計画における評価指標実績と第9期計画目標～

※実績値は令和5年度は年度末、令和6年度は令和6年12月末時点の値

基本目標1 健康寿命の延伸、重度化防止に向けた取り組みの推進

(1)生涯を通じた健康づくり活動の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいきいずみ体操の周知・啓発件数（事業のPR活動）	PR件数	目標		16件	16件	16件
		実績	19件	16件		
いきいきいずみ体操の体験版実施回数	実施回数	目標		12回	12回	12回
		実績	16回	7回		

「いきいきいずみ体操」を啓発する件数が各地域包括支援センターによってばらつきがみられます。地域差なく増加するために各地域包括支援センター同士で「いきいきいずみ体操」の周知方法の工夫等を共有し啓発件数の増加に取り組みます。

(2)介護予防・重度化防止の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
おたがいさまサポーター事業	登録者数	目標	370人	370人	410人	450人
		実績	410人	252人		
	活動件数	目標		60件	70件	80件
		実績	68件	87件		
はつらつ教室参加人数の増加	参加人数	目標		80人	80人	80人
		実績	75人	75人		

おたがいさまサポーター事業の活動件数、はつらつ教室参加人数ともに、飛躍的な向上は見られませんでした。どちらも利用に際してケアプランの作成が必要な事業であるため、現行様式の見直しにより、プランナーに対する利用促進を行います。おたがいさまサポーター事業に関して、登録者数については年度当初に今後の意向確認を行い、実際に動けるサポーターを再把握したことで大きく減少しています。活動件数については目標は達成しているものの、より利用に繋がるよう周知啓発を進めるとともに、制度の見直しを進めていきます。

基本目標2 高齢者の尊厳に配慮したケア対策の推進

(1)高齢者虐待の防止

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
権利擁護普及・啓発件数	件数	目標	48件	50件	52件	54件
		実績	167件	216件		

高齢者虐待防止・早期発見のため、対象と関わる機会の多い関係機関だけでなく、地域住民自身が意識して早期発見できるよう市民周知にも意識し努めております。また、高齢者虐待事案への対応としては、地域包括支援センターと連携して被虐待者と虐待を行っている養護者を含む家族支援に取り組んでおり、法律相談や講師を招き対応職員の対応力向上を継続して行います。

(2)認知症施策の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座	開催回数	目標		45回	45回	45回
		実績	43回	41回		
認知症サポーターステップアップ講座	開催回数	目標		2回	2回	2回
		実績	2回	1回		

認知症の人やその家族への理解を進めるため、今年度より当事者のメッセージを入れた内容で小学生～大学生など幅広い学生に向けて、また地域からの要望もあり地域の集団に向けて認知症サポーター養成講座を実施しましたが、働き世代の受講が少なく、今後PTAや企業等への働きかけを強化していきます。また、認知症サポーターステップアップ講座やチームオレンジへの運動性を考え、地域等への働きかけを継続して行います。

(3) 成年後見制度・消費者被害防止の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
権利擁護普及・啓発件数【再掲】	件数	目標	48件	50件	52件	54件
		実績	167件	216件		

消費者被害について、住民の当事者意識が高く研修の相談が増加傾向にあり、消費生活センターと連携し、住民だけでなく、高齢者と接することの多い事業所への周知にも取り組んでいきます。また、成年後見制度の利用促進に向け、地域における啓発の場を開拓するとともに、成年後見人サポートセンターと連携し、後見に興味を持ってもらう啓発手法を見直していきます。

基本目標3 地域におけるネットワークの構築

(1) 地域包括支援センター機能の充実、体制の強化

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域ケア会議開催回数	回数	目標	100回	90回	95回	100回
		実績	90回	59回		
介護支援専門員への研修会、会議等の開催回数	回数	目標	10回	25回	29回	33回
		実績	31回	32回		
地域におけるネットワークの構築に向けた活動件数	件数	目標		150件	170件	190件
		実績	182件	212件		

地域包括支援センターの主任ケアマネジャーを中心に各圏域の介護支援専門員への各種研修を実施し昨年度より増加している中、32回のうち12回が事業所からの講師依頼であり、各圏域での関係性の構築が図られていると考えられます。また、地域のいきいきサロンや移動販売の場など地域の様々な場に出向きニーズの把握や関係性づくりを行いネットワークの構築に向けた活動件数が増加しており、地域包括支援センターの周知や関係機関との体制強化につながっていると評価し、引き続き取り組んでいきます。

(2) 総合的な地域ケア体制の充実

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域ケア会議開催回数【再掲】	回数	目標	100回	90回	95回	100回
		実績	90回	59回		
地域におけるネットワークの構築に向けた活動件数【再掲】	件数	目標		150件	170件	190件
		実績	182件	212件		

地域包括支援センターが行っている地域の社会資源・ニーズの把握等の実績が増加しています。机上型・訪問型地域ケア会議の開催件数は減少しましたが、個別地域ケア会議の実績は増加しています。机上型・訪問型地域ケア会議に関しては、居宅介護支援事業所がメリットを感じ積極的に利用いただけるよう周知を行っていきます。また、各包括や地域ケア会議での地域の意見を集約し、社会資源の開発や施策に反映できるように取り組みます。

(3) 医療と介護の連携強化

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
在宅医療介護コーディネーターの相談対応件数	相談件数	目標		80件	90件	100件
		実績	36件	38件		
地域出張型在宅医療介護セミナー受講者数	受講者数	目標	1,594人	1,150人	1,250人	1,350人
		実績	1,068人	1,257人		
多職種による会議・研修（審議会・専門部会・研修）の開催数	開催回数	目標	20回	13回	14回	15回
		実績	17回	18回		

在宅医療介護コーディネーターの相談対象は専門職であり、昨年度より増加しているものの相談先としての周知等に課題があると考えます。今年度開催数が増加した、多職種（医療介護専門職）による会議・研修の機会を活用し周知していきます。また、地域出張型在宅医療介護セミナーは、高齢者が医療や介護について知る機会として開催しており、新規団体からのセミナー申込みも増加しています。

(4) 高齢者を支える体制の整備、セーフティネットの推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
生活支援体制整備事業協議体開催回数	開催回数	目標		20回	20回	20回
		実績	31回	35回		

地域住民と高齢者の福祉課題を解決するため、生活支援コーディネーターが地域に出向き、情報共有や地域資源の開発などを検討する協議体を開催し、地域づくりに取り組んでおり、特に現在は地域資源の見える化を図るため、生活支援体制整備システムを構築し、地図上で見える地域課題などの把握に努めるよう取り組んでいます。

基本目標4 生きがい・安心のある暮らしの実現

(1) 高齢者の積極的な社会参加の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症パートナー登録者数	登録者数	目標		250人	330人	410人
		実績	174人	208人		
おたがいさまサポーター事業登録者数の増加【再掲】	登録者数	目標	370人	390人	430人	470人
		実績	410人	252人		
老人クラブ会員数	会員数	目標		10,953人	10,953人	10,953人
		実績	10,953人	10,612人		
いきいきいずみ体操の周知・啓発件数（事業のPR活動）【再掲】	PR件数	目標		16件	16件	16件
		実績	19件	16件		
いきいきいずみ体操の体験版実施回数【再掲】	実施回数	目標		12回	12回	12回
		実績	16回	7回		

例年の傾向から、新規加入者が少ないため、クラブの中心的な役割を担うべき若手のクラブ会員が減少し、組織が高齢化する中で、クラブの継続が困難となる悪循環によりクラブ数が減少し、また、これに伴い会員数についても減少している。コロナ禍前のように各種イベントなどを実施することはできたが、クラブの継続が困難となる悪循環を止めるには至らなかった。より魅力ある活動が求められており、市や老人クラブなど関係機関と連携して、各種取り組みを進めていきます。

(2) 地域での生活の自立支援

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
移動支援サービス団体数	か所数	目標		3か所	3か所	3か所
		実績	3か所	3か所		
	延利用者数	目標		12,000人	14,000人	16,000人
		実績	8,976人			
おたがいさまサポーター事業【再掲】	登録者数	目標	370人	370人	410人	450人
		実績	410人	252人		
	活動件数	目標		60件	70件	80件
		実績	68件	87件		

地域では3団体の移動支援サービス団体が稼働しており、地域の移動支援ニーズに対応している。特に先行して活動を開始したチョイサポのしのだではニーズが非常に増加しており、対応できるキャパシティを超えて待機者が発生しているため、市としてもドライバー確保の取り組みが求められており、次年度において、市主催のドライバー講習会を検討しています。

(3) 介護家族への支援

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ケアプランのチェック件数	件数	目標	40件	40件	40件	40件
		実績	40件	40件		
オレンジカフェ開催回数	開催回数	目標		45回	50回	55回
		実績	35回	43回		

コロナ禍で休止していたオレンジカフェの再開が進み、まちカフェも新たに1件登録が増えたことで、地域住民や介護家族等が集い相談できる機会が増えました。送迎等の支援がないことが課題としてあがっており、地域の人が通いやすい場として新たなオレンジカフェの立ち上げ支援や認知症地域支援推進員の活動の中で地域住民をオレンジカフェにつなげるためのコーディネーターとしての支援の強化を図ります。

基本目標5 介護サービスの質の向上と介護保険事業の適正な運営

(1) サービスの質の向上と介護現場に対する支援

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護保険事業者連絡協議会参加者	参加者数	目標	210人	280人	280人	280人
		実績	373人	362人		
介護人材確保研修	参加者数	目標	50人	50人	60人	70人
		実績	27人	50人(見込み)		
ケアプランのチェック件数	件数	目標	40件	40件	40件	40件
		実績	40件	40件		
介護支援専門員への研修会、会議等の開催回数【再掲】	回数	目標	10回	25回	25回	25回
		実績	31回	32回		
介護支援専門員等からの相談件数	件数	目標		270件	290件	310件
		実績	250件	364件		

介護保険サービスを利用する人が増えている中、提供事業者においては人材不足が問題となっています。国の基本指針においてハラスメント対策を含めた働きやすい介護現場づくりが重要であることが追記されたことから、本市においてもカスタマーハラスメント研修を実施予定です。利用者にとって過不足ないケアプランとなっているか確認するために年間40件のケアプラン点検を実施します。また、地域包括支援センターが研修会や会議等を開催したり、介護支援専門員からの相談に応じ支援することで、介護支援専門員の質の向上に努めています。

(2) 利用者本位のサービス提供の推進

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
介護サービス相談員による訪問施設数	施設	目標	27施設	22施設	24施設	26施設
		実績	20施設	23施設		
介護サービス相談員による訪問回数	回	目標		220回	240回	260回
		実績	149回	201回(見込)		

本市においても4名の介護サービス相談員が市内施設を訪問し、利用者の疑問や不満・不安の解消に努めています。第8期では冬季の感染症の影響等もあり目標値を達成できなかったため、第9期は目標値を見直し、来年度は相談員の増員を予定しています。

(3) 介護保険事業の適正な運営

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認定調査員の研修	調査員研修の開催回数	目標	1回	1回	1回	1回
		実績	1回	1回		
	勉強会の開催回数	目標	3回	5回	5回	5回
		実績	4回	2回		
認定調査票点検件数	件数	目標		全件	全件	全件
		実績	全件	全件		
医療情報との突合及び縦覧点検	件数	目標	110件	全件	全件	全件
		実績	160件	全件		
ケアプランのチェック件数【再掲】	件数	目標	40件	40件	40件	40件
		実績	40件	40件		

給付適正化の3事業として①「要介護認定の適正化」②「ケアプランの点検」③「縦覧点検・医療情報との突合」に取り組んでいます。要介護認定に重要な役割を担う調査員の質の向上を目指した勉強会を実施し、調査票の点検を全件実施します。また、医療情報との突合及び縦覧点検では医療と介護の給付実績の確認や、同一人の複数月の請求内容の点検から請求誤り等がないかを全件点検しています。